伊奈町総務建設産業常任委員会

令和7年6月6日（金曜日）

埼玉県伊奈町議会

1. 招集年月日

令和7年6月6日（金）

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会	午前	9時00分
・休憩	午前	9時01分
・再開	午前	9時44分
・休憩	午前	9時52分
・再開	午前	9時52分
・休憩	午前	10時08分
・再開	午前	10時09分
・休憩	午前	10時25分
・再開	午前	10時25分
・休憩	午前	10時32分
・再開	午前	10時32分
・休憩	午前	10時34分
・再開	午前	10時35分
・休憩	午前	10時44分
・再開	午前	10時45分
・休憩	午前	10時53分
・再開	午前	10時53分
・休憩	午前	10時55分
・再開	午前	10時55分
・休憩	午前	10時57分
・再開	午前	10時58分
・休憩	午前	11時01分
・再開	午前	11時04分
・休憩	午前	11時06分
・再開	午前	11時18分
◎閉会	午前	11時19分

4. 出席委員名

委員長 藤原義春

副委員長 仲島雄大

委員 川内雅人、武藤倫雄、山野智彦、戸張光枝、五味雅美、上野尚徳

5. 欠席委員氏名

委員なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 森田範仁 局長補佐 清野聡子

7. 説明のため出席した者の職・氏名

町長 大島 清

副町長 秋葉宏和

教育長 豊田稔之

企画総務統括監 秋山雄一、くらし産業統括監 澤田勝、健康福祉統括監 秋元和彦、都市建設統括監 今野茂美、会計管理者 本多史訓、企画課長 佐藤亮太、企画課主幹 篠原愛、総務課 高山睦男、危機管理課長 矢部剛、社会福祉課長 小坂真由美、子育て支援課長 大塚健司、健康増進課長 木須浩、環境対策課長 北村和幸、土木課長 細田力、DX推進・新庁舎整備室長 瀬口悦史、DX推進・新庁舎整備室主幹 佐藤研吾、上下水道課長 田口真

開会 午前 9時00分

○藤原義春委員長 ただいまから総務建設産業常任委員会を開会します。

本日、町民の方から本委員会を傍聴したい旨申出は、今のところありません。伊奈町議会委員会条例第17条の規定に基づき、申出があった場合は許可したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○藤原義春委員長 異議なしと認め、許可することに決定いたします。

ここで、当委員会に付託された案件の審査に入る前に休憩し、関係する現地の視察を行います。

これより休憩します。

休憩 午前 9時01分

再開 午前 9時44分

○藤原義春委員長 休憩を解いて、会議を開きます。

審査に入る前に、大島町長からご挨拶をいただきたいと思います。

○大島 清町長 改めまして、おはようございます。

今日は、藤原委員長に、そして仲島副委員長になって初めての委員会になるかと思います。総務建設産業常任委員会ということで、第1回目を開催いただきまして、本当にありがとうございます。

開会前に町道第1312号線の舗装をするという工事を、現場を見ていただきました。私も久しぶりにあの辺に行ったなど改めて思って、もう少し足を運ばなくちゃと思いましたけれども、ああいうU字溝が真ん中にある道路というのも、昔はあったなと思いましたけれども、これから、そういう意味では4メートルか5メートルということで、両側にU字溝があるというのが理想的でありますので、そんなことで、これから町としても対応してまいりたいと思っております。

今日は、委員会では5議案を提案させていただいているかと思います。全議案とも可決承認賜りますように、どうぞよろしくご審議のほどお願い申し上げたいと思います。

以上です。よろしくお願い申し上げます。

○藤原義春委員長 ありがとうございます。

当委員会に付託された案件は、議案5件であります。これらの議案を一括議題といたします。

なお、本会議における提案説明並びに自宅での審査期間もありましたので、直ちに質疑に入ります。

それでは、第31号議案 令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第2号）の所管事項について質疑を行います。

4ページの第2表地方債補正、7ページから8ページまでの歳入全般について質疑はありませんか。

武藤委員。

○武藤倫雄委員 まず、7ページの国庫支出金の衛生費国庫負担金、こちら、議案説明で新型コロナウイルスの予防接種健康被害救済制度に関わるものと伺っています。

こちら、被害があった方からの申請から事が始まるかと思うんですが、その申請から国庫負担金が交付されるまでのプロセスについて、ご説明いただければと思うんですが。

あと、あわせて、その申請から交付されるまでの期間についても、分かれば。

○藤原義春委員長 健康増進課長。

○木須 浩健康増進課長 この方は町内在住の方で男性なんですけれども、接種を原因としてお亡くなりになってしまった事例でございます。

まず、経過といたしましては、接種日が令和3年4月で、私どもにご遺族からご申請がございましたのが令和6年8月でございます。交付決定ということで認定されたものが令和7年2月ということでございまして、こちらにつきましては若干時期が、4年ほど経過しておりますけれども、ご遺族の意向によるものということで、お時間がかかっているものでございます。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 すみません、ありがとうございます。

申請からプロセスというのは、それが町からどこに出して、どこが審査をして、どういった審査が入って決まるか、そういったところを聞きたいんですけれども。

○藤原義春委員長 健康増進課長。

○木須 浩健康増進課長 失礼いたしました。

まず、申請が上がった時点で、私どもで専門家を交えた検討委員会を設定いたします。そちらで申達をすべきものとして認定された場合に、県を通じて国の審査委員会に申達を上げさせていただくと。国でも、やはり専門家でそういった過去の接種歴であるとか既往歴であるとか、そういったものを総合的に勘案して、コロナウイルスの予防接種が原因であると認定された時点で、こちら、支給の対象となると伺っております。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 ありがとうございます。

そうすると、今回のケースは、令和6年8月の申請で、令和7年2月、半年ぐらいで交付決定されたということで承知いたしました。

続いて、土木費国庫補助金、先ほど視察したところなんですが、ご説明の中でも、今年度の交付率がうんと下がったということなんですが、これについて、何か要因的なものとかは把握しているのでしょうか。

○藤原義春委員長 土木課長。

○細田 力土木課長 県に問い合わせたところ、全国的に要望件数が多くて、補助金の配分を各自治体に回す配分が増えたために、どうしても補助率が下がったということになっております。

この補助率につきましては、県内同じ補助率で配分していると伺っております。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 ありがとうございます。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑ありませんか。

山野委員。

○山野智彦委員 今の補助率のところなんですけれども、県内同一ということでしたが、ほかの県では違う場合もあり得るのでしょうか。

○藤原義春委員長 土木課長。

○細田 力土木課長 国土交通省にも問い合わせてみたんですが、こちらにつきましても、全国的に同じ割合で配分していると伺っております。

以上です。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 これは、国土交通省が一方的に決めるような決め方になっているのかどうか、参考までにお伺いします。

○藤原義春委員長 土木課長。

○細田 力土木課長 要望自体は国土交通省に提出しますので、その中で、要望のある都道府県に配分して、都道府県から今度は市町村に配分するというようなシステムになっているかと思しますので、状況についてはそのような形です。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 理解いたしました。ありがとうございました。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 ないようですので、次に移ります。

暫時休憩します。

休憩 午前 9時52分

再開 午前 9時52分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

続いて、歳出に対する質疑に入ります。

9ページの第2款総務費について、質疑はありませんか。

五味委員。

○五味雅美委員 出納管理事務費なんですが、これの内容を詳しく教えてください。システム改修業務委託です。

○藤原義春委員長 会計管理者。

○本多史訓会計管理者 業務内容につきましては、金融機関等で支払われた納入通知書の情報を読み取った上で、データ化して会計科目別に集計したものを、賦課側が消し込みできるようなデータを納品してもらっている業務でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 よく分かんないんですけども、具体的にどういうふうな業務が改善されるのか、その辺教えていただけますか。

○藤原義春委員長 会計管理者。

○本多史訓会計管理者 こちらにつきましては、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律で、様式やシステム等を統一したものにして、全国的なガバメントクラウドで運用していこうというものの標準化作業から派生して必要となってくる作業でございます。そういう標準化が進んできますと、行政事務の効率化や標準化システムに関する業務に関するものを利用する方の利便性の向上が図られるといったようなメリットがございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 メリットもあるということなんですが、基本的には、国が進めている公共情報システムですか、その標準化ということですから、それに合わせていくという流れなんですけれども、費用は町の負担になるわけですね。本当にそれが業務改善というか、いい内容であればいいんですけども、標準化はせざるを得ないんですけども、そのお金は町で負担するということなんですが、その辺はどのようにお考えになりますか。

○藤原義春委員長 会計管理者。

○本多史訓会計管理者 本来であれば、国の進める標準化に関するものであるもので、国で補助を100%出してもらうのが本来の筋なのかなと思うんですけども、こちらについては、国の定める標準化仕様における改修業務から外れた、横出しになるような業務でございますので、補助はされないんですけども、町といたしましては、補助金を出してもらえればと考えておりました。

県やJ-LISにも何度か問合せしたんですけども、こちらは補助対象外になるということで、残念ながら町の持ち出しになってしまうものでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 はい、分かりました。

次に、企画費なんですが、地域情報化推進事業、DX関係ですね、DX推進事業、これは財源内訳の変更ということで、一般財源から国・県支出金に振り分けされています。これについて、説明してください。国・県支出金が出るようになった背景について、教えてください。

○藤原義春委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらにつきましては、歳入でも補正させていただいておりますが、令和7年4月1日付で交付決定されました新しい地方経済生活環境創生交付金に係る部分になっていまして、補正の部分に関しましては、被災者生活再建支援システムと公開型GISの追加整備になります。

この2点になります。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 質疑がありませんので、次に移ります。

11ページの第7款土木費について、質疑はありませんか。

山野委員。

○山野智彦委員 先ほど視察でお世話になりまして、ありがとうございました。

この工事費についてお伺いしたいんですけれども、今回のこの町道第1312号の拡幅改良工事においては、8月に契約して2月に完成予定ということで、大体半年ぐらい期間がかかるという形になっています。最近の工事では、土日を休んだり休憩時間をたくさん取るような、工期が延びるような感じの形が多いんですけれども、この工事費を入札する前提で計算をするときに、工期の長さというものは工事費の中に含まれているものなのか、そうではないのか、教えてください。

○藤原義春委員長 土木課長。

○細田 力土木課長 まず、工期についての考え方なんですけど、工種ごとに最低確保しなければいけない日数というのが決まっております。先ほど山野委員がおっしゃったとおり、今、週休2日というのが前提になっておりますので、その場合の経費については、割り増しをするような形で積算はしておりますので、この件については、費用を、その分を見て設計はしているという形になります。

以上です。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 なかなか難しいところはあると思うんですが、町としてはできるだけ予算を下げていただきたいという要望がある中で、最近の就業の仕方があって、最低確保日数が延

びることで工事費が増えるというところがありますよね。

前に道路の改修工事でも、県道なんかが、町を通る県道も、夜間も一気に工事をして、当然割増し賃金とか払わないといけないんでしょうけれども、そのほうが多分安いという判断もあって、そういうふうな形も取っている場合があると思うんです。

町の工事においても、標準的な工事と、もう少し、例えば詰めてやったときに、全体でどっちが安いのかみたいな検証というのは、数字的には可能だとは思いますが、そういう検討というのはやられたりはしているのでしょうか。

○藤原義春委員長 土木課長。

○細田 力土木課長 委員おっしゃるとおり、工事によって、例えば使う機械であったりとか、時間帯もそうなのですが、どう工事を行ったほうが費用を抑えられるかというのは、設計の中では検討はさせていただいております。

ただ、夜間工事等につきましては、例えば、そこが交通量が多かったりとか、ほかに与える影響が大きいような場合、そういうときは費用が多少上がったとしても、夜間工事をせざるを得ないというケースもございますので、それは、費用ばかりではなく、その環境にも配慮しながら、工事は進めていくような形で考えております。

以上です。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 状況によるということでは理解しました。引き続き、予算がなるべく抑えられるように、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 質疑がありませんので、次に移ります。

11ページから12ページ、第8款消防費について、質疑はありますか。

武藤委員。

○武藤倫雄委員 この会計年度任用職員の増員の背景について、ご説明をお願いします。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 増員の背景ということでございますけれども、こちら、北部消防庁舎建設に関わって、令和7年度から本格的に業務をスタートするに当たりまして、消防業務の知識のある職員、そちらを会計年度任用職員として任用させていただいて、用地取得に係

る準備、建設までに必要となる備品等の資料作成等を行っていただくような形になります。

こちら、広域化後8年以内に整備するということとされている事業でありますので、そのための体制整備でございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 先ほどのご説明ですと、消防について識見のある方ということで、OBの方と考えるとよろしいのでしょうか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 そのとおりでございます。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

13ページから24ページまでの給与費明細書、地方債調書について、質疑はありますか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

第31号議案のうち、所管事項に対する反対意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第31号議案 令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第2号）のうち所管事項について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○藤原義春委員長 起立全員です。

よって、第31号議案のうち所管事項について、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第32号議案 伊奈町職員の育児休業等に関する条例及び伊奈町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の質疑を行います。

質疑はありませんか。

武藤委員。

○武藤倫雄委員 条例の条文の2ページ目の最後のところで、伊奈町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例に、第17条の3、勤務環境の整備に関する措置というのが追加、今回されます。請求等が円滑に行われるようにするために、(1)、(2)、(3)と示されているんですが、現在当町において、この(1)、(2)、(3)が既に対応されているものなのか、それともこれから整備していくことになるのか、確認させてください。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 今回、第17条の2で追加された部分につきましては、これから実施していく部分でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 第17条の3について伺わせていただいております。お願いします。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 17条の3につきましても、今後実施していく部分でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 今現在において、どのようなことを検討されているかっていうのはありますでしょうか。例えば、専門家的な講師を呼んでとか外部の方を呼んでとか、内部的な研修で対応していくのか、そういったところをお伺いできれば。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 現在考えていることといたしますと、厚生労働省である程度資料がございますので、そういったものを利用して研修等を開催したいと考えております。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 繰返しになりますが、その講師とかは、外部の方をお願いするようになるのか、内部的な研修で対応していくのかというところまでは、まだ検討に至っていないですか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 現在、その専門的な方を呼ぶかというところまでは、今検討段階でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時08分

再開 午前10時09分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

総務課長。

○高山睦男総務課長 すみません、先ほどの答弁の中で、今後実施していくという説明をさせていただいたんですが、介護など総務課に相談があることが実際ありますので、そういった場合には、介護休暇など、そういった休暇があるということはお知らせ、相談には乗っている状況でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 これ、介護両立、職員の方がしていく状況になったときに、請求が円滑に行われるように、つまり、言える職場がなるようにという、すごく大事なことだと思うので、ぜひこの体制は早急に整えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 職員の配偶者等に該当する者として質問なんですけれども、伊奈町ではパートナーシップ宣誓制度を導入しておりますが、同制度に基づくパートナーは、職員の配偶者等に該当する者として介護休暇や介護休業等の対象とみなされるのかどうか、お聞かせください。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 委員おっしゃったパートナーシップにつきましても、該当となります。

以上です。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 これ、一見して少しよく分からないので、規則や要綱において、パートナーシップによるパートナーも配偶者と同様に扱う旨を明記するという事はできるのでしょうか。お願いします。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 現在の改正につきましては、国の基準というんですかね、国の法律に合わせた同様の改正となっております、現在ではそういったことを入れ込むということは考えておりませんが、今後、そういった改正等がもしあるようであれば、国の改正に合わせて見直ししたいとは考えております。

以上です。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 分かりました、よろしく願いいたします。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 まず伺いたいんですが、今まで深夜残業から除外するというその任命権者は、3歳に満たない子、これが小学校、未就学児まで広げるという形になると思うんですが、伊奈町において、これの対象者といいますか、どのぐらい広がっていくのか分かりますか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 対象者につきましては、総務課で把握しているのが、扶養の現況届が出ている職員の数字になってしまうんですが、3歳に満たない子を養育する職員の数が6名で、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員が19名ですので、13名が増加という形になります。

以上です。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 それからもう一点伺いたいんですが、深夜ですね、これ、10時から翌朝5時までということなんですが、こういう深夜残業というのはどのくらいあるんですか。深夜勤務ですか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 実際に事例というのは少ないんですが、想定されるとすると、災害とかそういったのが想定されるのかなと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 特別な場合にはないということのようですが、それと今、先ほどの質問で、現在6名だったものが19名にまで増えていくと。実際にこれが介護や何かで勤務から外さなくちゃいけないとなった場合に、それをフォローする体制というのは取れるんでしょうか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 いろいろ、育児だったり介護だったりという部分で、働きやすい職場にするためには、そういった取りやすい環境にするのが大事だと思っておりますので、このあたりにつきましては、職員みんなで協力し合って業務を進められるようにしていきたいと思っておりますし、そのようにできると考えております。

以上です。

○藤原義春委員長 五味委員。

○五味雅美委員 先ほど、申請についてもやりやすいようにという話がありましたけれども、あわせて、取れる体制がなければ、やはり無理だと、諦めるという形になったんでは、せっかく制度をつくっても中身がないことになっちゃうと思うんですね。やはり日頃からその辺についてもしっかり考えていただきたいなと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

山野委員。

○山野智彦委員 これは育児休業法、介護休業法の改正に伴う自治体での対応という形になると思います。一般の企業でも、今この法改正で対応がばたばたしているところが多いんですけども、そもそもの点でまず1点伺いたいのが、育児休業中、介護休業中の報酬は、給与はどういうふうな扱いになっていますでしょうか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 育児休業や介護休業の期間につきましては、給料は支払われないんですが、共済組合から手当金が支給されます。

以上です。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 民間と同じということで確認ができました。

あと、この法改正で、10月にも柔軟な働き方に対する対応が求められることになっているんですが、その辺は、また10月以降に対応するという形になりますでしょうか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 委員おっしゃるとおり、その辺は9月議会に提出させていただきたいと思っております。

以上です。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 ありがとうございます。

ちなみに、中小企業、零細企業ではこの対応はすごく大変で、義務化も許されている面はあるんですけども、経済活動への一時的な支障になっているのかなという面が実際に声としてあるということをお伝えしておきたいと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はありませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 ありませんので、質疑を終わります。

続いて討論を行います。

本案に対する反対意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第32号議案 伊奈町職員の育児休業等に関する条例及び伊奈町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○藤原義春委員長 起立全員です。

よって、第32号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第33号議案 伊奈町特別職の職員で非常勤の者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の質疑を行います。

質疑はありませんか。

武藤委員。

○武藤倫雄委員 最初に、改めての確認なんですが、今回、国の法律が変わったので合わせる

ということなのですが、これまで伊奈町だけが低かったというわけではなくて、国が上がったから合わせて上げるというところで、まず確認させてください。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 報酬額につきましては、これまでも伊奈町は国の基準と同額としておりました。今回も、国の引き上げられた金額と同額に合わせての改正となっております。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 というのは、これを見ますと、報酬に対して、1日13時間が基本というような内容になっていまして、それでいくと、なかなかこの日額を見ても、要は、若い人はなれないんじゃないかなというところがあって、国の基準に伊奈町はしますというのが妥当なのかどうかというところ。例えば、伊奈町として、うちは国の基準より上げますよというのも、制度的に可能なのかどうかというのを伺いたいですけれども。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 報酬額につきましては、国の基準より上げるということは可能でございまして、実際に高い市町村もあつたり、逆に低いところもあつたりするんですが、ただ、全体的に見ますと、やはり国の基準と合わせているところがやはり多い状況です。伊奈町につきましても、同額でやっているところがございます。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 高くされているところもあるというところで、数字について急に聞いても難しいかと思うんですが、ご存じの範囲で、例えば、倍ぐらい出しているところもあるということになるのか、5割ぐらい増しのところは聞いたことがあるとか、そのあたりの情報があればお伺いしたいんですが。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 他市町の状況で、高いところでまず言いますと、行田市が、選挙長が1万7,000円というのはございます。逆に低いところだと、横瀬町、皆野町、横瀬町が8,700円、皆野町が7,500円というのがございます。

以上です。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 はい、分かりました。

なかなか、選挙も投票率が上がらなかつたり、住民の方の興味が向かないとかいうことも

あるので、こういったことをお引き受けいただきやすくなるようになっていけばいいなど考えているので、他市町も含めて、今後も研究してもらえればと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 今回の報酬改定に伴って、町の選挙執行経費全体に与える増額分はどの程度になるか、お聞かせください。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 増額につきましては、19万7,000円増額となります。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 分かりました、ありがとうございます。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 ありませんので、質疑を終わります。

続いて討論を行います。

本案に対する反対意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第33号議案 伊奈町特別職の職員で非常勤の者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○藤原義春委員長 起立全員であります。

よって、第33号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第34号議案 財産の取得について（防災用資機材等）の質疑を行います。

質疑はありますか。

戸張委員。

○戸張光枝委員 この入札には、伊奈町の地元業者であるヤマト防災設備有限会社も参加されており、結果として、落札額との差は約500万円と、非常に惜しい結果であったと思

ます。

伊奈町としては、地元事業者を積極的に活用するBUY伊奈の理念を掲げておられますが、この理念を踏まえたときに、今回のような大きな調達において、価格だけではなく、地元貢献や継続的な関係性も含め、地元業者への発注を前提とした分割発注の余地など、もう一步踏み込んだ方法は検討できなかったのかどうか、お聞かせください。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時25分

再開 午前10時25分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

総務課長。

○高山睦男総務課長 ただいまの入札の関係なんですが、今回指名させていただいている業者につきましては、指名登録されている業者の中から選ぶんですが、今回、まずはやはり伊奈町の業者から指名をさせていただくんですが、伊奈町で登録されている業者がヤマト防災設備有限会社しかございませんでしたので、ヤマト防災設備有限会社しか入っていない状況でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 それで、地元業者への発注を前提として、分割で発注することができなかったのかという質問なんですけれども、この一括ではなくて。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 分割での発注ということでございますけれども、こちらは、防災用倉庫の購入とか、複数購入物品がございます。こちらについては、分割発注にすることによって、その経費というのがその分かさんでくるというのがございますので、今回につきましては、そのあたりも考えて一括発注という形で実施させていただいたものでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 はい、分かりました。

今後こうした防災関連資材の設備更新が続くことを考えますと、ぜひとも地元業者の参入機会をどう確保していくのかをご検討いただきたいなと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はございませんか。

武藤委員。

○武藤倫雄委員 こちら、3月の補正で一度審議されて、この品目については、そのとき質疑があったかなと思っております。

重複しましたら大変申し訳ありません。この防災倉庫3基が入替えになるのか、追加になるのか、また場所についてお伺いできればと思います。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 こちら3基については、これは新設でございますので、追加という形になります。

場所につきましては、南部地区ではゆめくる敷地内、中部につきましては伊奈中学校の体育館の裏の駐車場、北部については小針小学校か、または記念公園の北側の駐車場、こちらを前提に、現在関係課と調整をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 ありがとうございます。

今回、要配慮者対応トイレテントが購入されるということで、非常にいいことだなと思っているんですが、これらの品目を見ますと、大人、子供共用で使えるものばかりなんですが、トイレについて、防災訓練とかで拝見すると、子供には便座を追加で乗せて使えるようにするというようなのを拝見したんですが、その子供用の便座というのは、この13それぞれの避難所でどの程度用意されているものになるのでしょうか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 子供用の便座ということでございますけれども、現在、町では、子供用というのは備蓄してはございません。

以上でございます。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 当然お子さんも避難所で生活していくわけなんですが、大人用のトイレでお子さんもやってねというのは、少し難しい部分もあったりするのかなと思うんですけれども、

その辺、小児に対するトイレの使用への対応というのは、どのように考えていらっしゃいますか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 こちら、子供用のトイレにつきましては、今回の資機材購入補助金の対象になっておりませんでしたので、その子供用の便座については、これとは別に購入を今後検討してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 武藤委員。

○武藤倫雄委員 ぜひご用意いただければと思います。

例えば、その1避難所に1個だと、結局お子さんはその1個にずっと並ばなきゃいけないということになってきますので、多くのトイレで子どもが使える、並ぶのが少なくなるような形で考えていただければなと思います。

以上です。ありがとうございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 何点かあるものですから、重複していたら申し訳ございません。

まず1点なんですけれども、指名競争入札にした理由をお伺いできますか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 物品購入につきましては、現在伊奈町では、金額等にも関係なく、指名競争入札で実施している状況でございます。一般競争入札につきましては、まだ要綱等の整備等もまだできていない状況でございます。今、一般競争入札については検討している、状況でございます。

以上です。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 今の要綱の関係で教えてください。

検討しているという形なんですけれども、いつぐらいまでで要綱は完成する予定でしょうか。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時32分

再開 午前10時32分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

総務課長。

○高山睦男総務課長 物品購入につきましては、工事とか委託と違いまして、他の団体でも指名競争入札でやっている事例が結構多くございます。伊奈町としても、まだ工事、委託については一般競争入札できるように今なっているんですが、物品についてはまだ、どのように一般競争入札をしていくのかというところが決まっていない状況でございます。時期についても、今この時点でいつからできるというのは申し上げられないんですが、内部では一般競争入札できるようにしようということで、検討はしているところでございます。

以上です。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 やはりいつもお金がないとかという話を聞くことが多いものですから、金額を低減する、下げるためには、やっぱりこういうような形の場合には一般競争入札で金額の交渉みたいな形は必要だと思います。

続いて、先ほど戸張委員の話もあったんですけども、分割を何でしなかったのか、経費の部分はあると思うんですけども、それを差し置いても、分割にすると金額が、言い方悪いですよ、プラスになったりとか、下がったりとかって、いろんなメリットが出てくると思うんですけども、その辺の見解ってどのような形になっているんでしょうか。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時34分

再開 午前10時35分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 なぜ分割発注じゃなかったのかというところでございますけれども、今回のこの交付金、今年度中の納品が大前提ということで行われている事業になります。そして、その中で、今回3つの防災倉庫を購入するほかに、19の防災倉庫があるんですけど

も、そういうところに振り分けていくというような必要性も出てくるので、複数の業者が入ると、なかなかこの調整というのも非常に難しくなってくるというのもございました。そちらについては、なるべく早く納品をして活用できるようにしたいという気持ちがございますので、今回はこのような一括発注という形にさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 納期という部分が絡んでくるのは分かりました。ただ、納期が令和8年3月31日という形になっていると思うんですけども、逆に一度に納品されたら、これ、どうやって検品をするんでしょうか。年度末になると職員の方々も忙しくなると思うんですけども、こんなのが一遍に町に納品されてきたときに、これってどうなんだろうってチェックする人もまた必要になってくると思うんですけども、この納期というのは、あくまでも令和8年3月31日が補助金の対象期限だから、そこにしているのか、それとも、ほかのことを鑑みて3月31日にしているのか、その辺教えていただけますか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 こちらにつきましては、納期としては今年度末という形にさせていただいておりますけれども、こちら、交付金使って全国一斉にほかの自治体も動いている事業でございます。物については、当然のごとく納入が遅くなるもの、すぐに入るものという形で、それぞれ物によって納期のタイミングというのが変わってまいりますので、一括で納入というよりも、納入のめどが立ったときに、随時納入をしていただくというような形で考えているところでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 すみません、嫌らしい質問をして申し訳ないんですけども、多分そうだろうなって想定はしているんですけども、ただ、やっぱりこういう書き方をされると、一度に納品されることも考えられると思うんですよね。業者からすれば、納期が決まっているからという形になったときに、職員の方が本来やる業務じゃない部分も出てくると思いますんで、そこを少し心配して質問させていただきました。

最後なんですけれども、この内容を議案として判断しろというふうな形で上程されていますけれども、防災用品って安全性が最優先されると思いますし、この中には、蓄電池だったりとか発電機というものがあるんですけども、J I SマークやP S Eマークだったりとか、

蓄電池ならばワットアワーだったりとか、発電機だったらキロボルトアンペアみたいな、能力に関する仕様が一切ついていないものですから、実際それが正しく発注かけられているものなのかどうか、条件が満たされているものなのか判断できないので、そういう資料というのは別途つけることは可能なんではないでしょうか。

○藤原義春委員長 総務課長。

○高山睦男総務課長 こういった議案の参考資料の作成につきましては、近隣市の議案とかも参考につくらせていただいているところなんですけど、委員おっしゃるとおり、ほかの資料というところなんですけど、今この場で、こういった資料をつけるということは申し上げられないんですけど、そういった資料について検討していきたいと思います。

以上です。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 ぜひお願いします。他市町の状況を見ると、この後の議案もそうなんですけれども、別に資料がつけられているような形の議事録が残っておるものから、判断をするのであれば判断材料を示してもらわないと、数と品目だけでは適正かどうかというのが、総額だけでは判断できない部分もあるものから、大変恐縮なんですけれども、その辺のところ、今後のことを考えて検討していただければ有り難いです。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はありませんか。

山野委員。

○山野智彦委員 今の蓄電池と発電機のところなんですけど、形変えて質問しますが、オーダーしている蓄電池の能力はどのようなもので、それはこの納品では満たされているのか、確認させてください。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 購入で指定している蓄電池の能力でございますけれども、蓄電池2種類ございます。1台については、1台で3キロワットアワーの容量のもの、もう一台につきましては6.4キロワットアワーの容量のものという、2種類を購入するような形で進めております。

以上でございます。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 せっかくなので、2種類で合計23台ということなんですけど、内訳は分かりま

すか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 2種類、先ほどお話しさせてもらった3キロワットアワーのものが13台、そして6.4キロワットアワーのものが10台でございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 ありがとうございます。家庭用よりも2倍以上大きい感じなので、使えるのかなと思いました。

次に、発電機ですが、これも13台の中身の種類ですね、教えてください。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 発電機は、これは1種類になります。こちらは、5.5キロボルトアンペア、こちらが1種類の購入という形になります。

以上でございます。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 この発電機の発電材料はガソリンでしょうか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 ガソリンでございます。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 全員協議会で説明があったときに、質問、提案したと思うんですが、伊奈町はまだプロパンの保有が多いので、プロパンガスでも発電できるものを検討してくださいとお願いした記憶があるんですけども、それについては、検討はなされたのでしょうか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 こちらも検討はさせていただいたところなんですけれども、やはりプロパンになりますと、保管する場所とか、そのあたりも検討する必要性もございますので、そこについては今後の課題という形で、引き続き、他市の状況等を見て検討を進めているところでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 保管と言われましたが、発電機の種類のことなので、ガソリンだけではなく、プロパンガスにつないでも発電ができるタイプがありますよと、ぜひ検討してください

とお伝えしたと思うんですけれども。だから、保管場所は関係ないと思うのですが。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 失礼いたしました。

プロパンガスにつきましては、災害時の調達というところで、迅速性というのを考えたときに、ガソリンのほうが早く調達ができるということで、今回については、使い勝手等を考えてガソリンを選ばせていただいたような形になります。

以上でございます。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 使い勝手が迅速性があるというお話でしたが、プロパンボンベがあるところにプロパン発電が可能な発電機を持っていけば発電できるわけですから、簡便性という意味では理由にならないのではないかと思いますのですが、いかがでしょうか。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時44分

再開 午前10時45分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 確認させていただければと思いますので、お時間いただければと思います。

○藤原義春委員長 山野委員、よろしいですか。

くらし産業統括監。

○澤田 勝くらし産業統括監 ただいま山野委員からご質問がありましたプロパンの使えるものということで、いろいろ検討させていただきました。その中で、やはり価格の面であったりとか、そういったところも考慮いたしまして、今回ガソリンという形で選ばせていただいたものでございます。

ただ、町のプロパンガスの事業者と災害協定等を結んでおりますので、今後につきましては、また購入と今後保管していくということも含めて検討していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○藤原義春委員長 山野委員。

○山野智彦委員 全員協議会のときにもお伝えしたと思うんですが、首都圏直下とか南海トラフにおいては、発電所がダメージを受ける影響が非常に高いと考えられております。電気が止まるのが長期にわたる、一月とかになる可能性がありますので、できるだけ多様な発電能力を確保していただきたいと思いますので、次の発注時にはぜひ検討していただければと思います。よろしくお願いいたします。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はありませんか。

副町長。

○秋葉宏和副町長 先ほど来、戸張委員、あと仲島副委員長、あと山野委員から、いろいろご質問いただいて、ありがとうございます。

2点だけ補足をさせていただきたいと思うんですけれども、いろいろ、先ほど仲島副委員長からありましたけれども、説明資料について、いろんな物品のスペックですとか詳細なものをつけたほうがいいんじゃないかというご提案については、これまでの伊奈町の出し方というものがこういったところだったということですか、あとは、他市でももう少し細かいものがあつたから、つけてくれれば見るし、それがないと判断できないというご提案もありましたものですから、その辺を踏まえて、今後こちらとしても、こういったケースがあつた場合については、資料整理等準備をしていきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

またもう一つ、発注の分割発注がいいのか、一本がいいのかとか、その辺なんですけれども、いろいろ工事ですとか物品ですとか、発注をかける際には庁内での業者選定委員会ですかね、指名委員会がございまして、その場で、私が委員長を務めさせていただいておりまして、メンバーは関係の各統括、ここにいるメンバーを中心とした各統括が委員となって審査しております。

工事であれば、どの区間を、同じような工事が結構あつたりして、一括でやったほうがいいんじゃないかとか、あるいは物品についても、先ほどの議論があつたような形でまとめたほうがいいんじゃないのか、いろいろそのときそのときの考えがあつたりするものなのかなということは、こちらも重々承知しております。分けたほうがより微に入り細に入りのチェックができるんじゃないかとか、そういったこともある反面、先ほど危機管理課長からもありましたけれども、まとめたほうが迅速性に貢献するし、金額的にもメリットがあるとか、いろいろあるわけなんですよね。

その辺については、発注する際に、委員会での審査も十分経て、その都度その都度、また

物価高騰ですとか、あとは業者の業界のそれぞれの状況ですとか、そういったところを担当課、もしくは総務課でしっかり情報収集した上で、その時期時期に応じた判断をさせていただいておるところでございます。

今回、この委員会で種々ご意見いただいたことを踏まえて、私も委員長として更にチェックをしっかりしていこうと思いますので、また委員の皆様からも都度都度アドバイスをいただきたいと思いますが、担当課も本当に物価上昇、それと人工が足りないとか、いろんな調達で本当に苦労しているんです。その点についてはご理解賜りたいと思います。我々も一生懸命やらせていただきますので、委員の皆さん、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑は。

町長。

○大島 清町長 いろいろありがとうございます。

戸張委員の質問で、地元の業者が少し高いけれども考えたらどうでしょうという話がありましたね。確かに、そういう意味では、私、BUY伊奈ということを行っているので、地元の業者が本当に取れば一番いいわけですので、税金を納めているということもあるし、町でいろんな意味でのお手伝いをさせていただいているということもありますので、これからは、そういう意味では、一般競争入札というともう値段だけの問題になっちゃうので、ですから、それでいいのかどうかということもあるし、大切な税金を使うということは安いほうがいいよということにもなるし、ですから、その辺のところを、地元との中でどうしていったら一番いいんだろうなど。今、副町長からいろいろ話ありましたけれども、できるだけ地元の皆さん方が受注できれば一番いいなと思うので、その辺のところをもう少し、検討していく必要があるかなと思いますので、少しお時間をいただいて、何かいい方法を考えていきたいなと、こんなふうに思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はありませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

本案に対する反対意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第34号議案 財産に取得について（防災用資機材等）について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○藤原義春委員長 起立全員であります。

よって、第34号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第35号議案 財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型））の質疑を行います。

質疑はありませんか。

戸張委員。

○戸張光枝委員 まず、予定価格が3,543万3,200円ということで、結果、落札価格が2,350万円ということでした。各社応札された業者は大分頑張ったのかなというところなんですけれども、この価格差が大きくなる場合に、仕様や内容に対する違いとか、見積り方法の相違などがあるのかなって考えるんですけれども、ご見解をお聞かせください。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時53分

再開 午前10時53分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

総務課長。

○高山睦男総務課長 応札の金額の差があるという部分なんですけど、入札につきましては、仕様書というものを出しております。この仕様書どおりに各企業が金額を出して応札してきますので、この仕様書どおり皆さんやっている中で、企業の努力による部分だと思っておりますので、金額については支障がないものと考えております。

○藤原義春委員長 戸張委員。

○戸張光枝委員 ありがとうございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 何点かまたあります。

仕様書の話は、先ほど副町長がお話しされていたように、仕様書に基づいてというのであれば、仕様書が出てこないと判断ができないものですから、今後それは検討いただければいいと思います。

私が気になったのは、保証とか修理の体制についての内容です。シャーシ部分の保証体制はどのような形になっているのか、ご存じであれば教えてください。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時55分

再開 午前10時55分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 保証についてでございますけれども、こちらについては、車両の納入後1年間という形になっております。ただし、保証期間以後においても、設計不良とか工作不良等によって故障が発生した場合については、その部分については無償で交換、修理することと、仕様書には明記をされております。

以上でございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 私、自動車関係に勤めているものですから、少し嫌らしくなってしまうんですけれども、これ、シャーシは自動車メーカーなんですね。架装部分は、多分シャーシを買ったところが架装するから、保証は多分別になるんじゃないかと思うんですね。ただ、特殊な場合があって、トヨタみたいところが一手で全部やるような場合には、そこに基づいて保証というのが出てくるものですから、1年間というのはシャーシ側の保証なのか、仮装側の1年間なのか、それによっても、購入後に不具合が出てくる可能性も出てくるものですから、そうすると、今度は修繕費で高額な金額がかかってくると思いますので、その辺のところの兼ね合いはどうなっているのか、確認をされていないのであれば、確認をしておい

たほうがいいですよというアドバイス程度でいいです。

ただ、もう一点なんですけれども、他市町だと、仕様書に納入した車両に故障及び不具合が発生した場合、1時間以内に技術者を派遣し修理対応をすることというような項目が追加されています。今回のような車の場合には、緊急車両という、普通の自家用車とは扱いが違ふものですから、止まってしまうと困るものですから、こういう内容も盛り込んでいるんですけれども、伊奈町の場合にはこういうような仕様書に記載はあるのでしょうか。

○藤原義春委員長 暫時休憩します。

休憩 午前10時57分

再開 午前10時58分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 すみません。先ほど仲島委員がおっしゃっていたことについては、今現状のこの仕様書、特にそこには明記はされてございません。今回購入するのは消防の車両という形になります。また、今後購入するに当たっても、今いただいたご意見を反映させて、仕様書にも明記するような形で進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 新車だから壊れないというのは当然ないんですよ。車の場合には、1万点以上の部品からなっているものですから、公差によって不具合が発生する確率ってやっぱりあるんですよ。緊急の場合なものですから、待たなしの部分があるんで、こういう対応の部分というのは、今後検討していただいて、仕様書に盛り込んでいただくというのもよろしいんじゃないかなと思います。

それで、この車両は増車ですか、乗換えというんですか、入替えになるんですか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 こちらの車両につきましては、1分団車両の交換というような形で、更新になります。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 その際、この車の廃車の手続というのは、どちらの費用が、町が負担するのか、それとも業者側の負担なのか、どうなっているのでしょうか。

○藤原義春委員長 危機管理課長。

○矢部 剛危機管理課長 今回の既存の車両の廃車についての費用については、こちらの仕様には含まれてございませんので、今後今の消防車両を廃車するのか、またはオークションというのも今ありますので、どのような形で進めていくかというのを今、検討しているところでございます。

以上でございます。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

○仲島雄大副委員長 車の特性からすると、オークションで流したときに、正しいところに使われればいいんですけども、違い使う方をする場合も出てきますし、過去の議事録を見ると、寄贈みたいな形も伊奈町もしていたものですから、そういうものも頭に入れながら進めていただきたいと思います。

とにかく、できる限り費用負担が少ないような形の取組というのは大切なのかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○藤原義春委員長 ほかに質疑はありませんか。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

本案に対する反対意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○藤原義春委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第35号議案 財産に取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型））について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○藤原義春委員長 起立全員であります。

よって、第35号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、総務建設産業常任委員会に付託された議案の審査は、全て終了しました。

ここで、執行部の退席をお願いします。

暫時休憩します。

休憩 午前11時01分

再開 午前11時04分

○藤原義春委員長 休憩を解いて会議を開きます。

次に、協議事項のその他に移ります。

まず、所管事務調査について、事務局長に説明してもらいます。

○森田範仁事務局長 常任委員会の所管事務調査の関係でございますが、今お飛ばしさせていただいたものが、過去の視察先等の一覧になります。総務建設産業常任委員会については、昨年は茨城県稲敷市、千葉県が多古町を視察しているところでございます。例年秋口に実施してきているところでございますが、次に9月以降の予定表をお送りさせていただきます。

一応、9、10、11月ということで、今事務局でいろんな行事等予定されているかと思いますが、その辺を掲載するとともに、網かけになっている部分については、視察の日程として可能かなというようなところを、色をつけさせていただいたところでございます。委員の皆様で、調査日、またテーマ、視察先等のご決定をお願いできればと思います。

以上でございます。

○藤原義春委員長 まず、テーマを決めたいと思うんですけども、皆さんの意見をということで、川内委員から順番に、ここはどうだろうということで、まずテーマですね、お願いします。

○川内雅人委員 すみません、全く準備をしていなかったもので、ノーアイデアでございます。

○藤原義春委員長 武藤委員、お願いします。

○武藤倫雄委員 少しお時間をいただきたいと思います。

○藤原義春委員長 山野委員、お願いします。

○山野智彦委員 同じです、すみません。

○藤原義春委員長 仲島副委員長。

- 仲島雄大副委員長 突然のことで対応し切れません。
- 藤原義春委員長 戸張委員。
- 戸張光枝委員 私も同様です。
- 藤原義春委員長 五味委員は。
- 五味雅美委員 特にないので、委員長、副委員長、事務局にお任せしたいと思います。
- 藤原義春委員長 上野議長、同じですね。
暫時休憩します。

休憩 午前11時06分

再開 午前11時18分

- 藤原義春委員長 休憩を解いて会議に入ります。

まず、時期については、10月1日、2日、次に10月23日、24日、これで事務局に交渉をお願いしたいと思います。

- 森田範仁事務局長 委員長、いいですか。

できれば、一応事務局としましては、例えば、第1希望が10月1日、2日ということであれば、この線で進めたいと思いますが、いかがでしょうか。一応2案いただきましたが、まずは1案のほうでテーマと、あと相手方に調整させていただければと思いますが、1案をベースで考えるということよろしいですか。

〔「はい、お願いします」と言う人あり〕

- 森田範仁事務局長 ありがとうございます。

- 藤原義春委員長 事務局も、これから少し大変になるかと思うんですが。

あと、それとテーマなんですけれども、これももう一度まとめます。

防災対策、東日本大震災の復興状況、能登の復興状況、あとは官民連携のインフラの維持管理、道路、下水道、公園等ですね。以上でよろしいですね。

あとはとにかく事務局に任せまして、あと、候補が出たところで、正副委員長も参加させてもらって決めたいと思います。よろしくお願いします。

ほかに、委員の皆さんから何かございますか。

〔発言する人なし〕

○藤原義春委員長 特にないようですので、閉会の前に、仲島副委員長より挨拶をお願いします。

○仲島雄大副委員長 長時間にわたり、お疲れさまでした。ありがとうございます。

○藤原義春委員長 これをもって閉会とします。お疲れさまでございました。

閉会 午前11時19分